

## 全能神教会

Massimo Introvigne  
*CESNUR (Center for Studies on New Religions)*  
maxintrovigne@gmail.com

### 全能神教会の概要

全能神教会は中国の千年至福主義の宗教団体であり、東方閃電と呼ばれることもある。もともと外部の専門家が与えた名称であり、その後、全能神教会も受け入れることになった。この名称はマタイによる福音書の一節（24：27）を引用している -- 「ちょうど、いなずまが東から西にひらめき渡るように、人の子も現れるであろう」。全能神教会によると、この「いなずまが東から」は全能神としてイエス・キリストが東の国、つまり中国で再来し、人類の第三の時代を開始することを指すという。同団体の教義は従来のキリスト教の教義とは間違いなく異なるものの、アメリカ人の学者、ホリー・フォーク氏は、同団体の教義は現代の新しい「真のキリスト教の教え」の一つであり、「キリスト教における知的および神学的なつながりを十分に有している」と考えている (Folk 2018)。

### 歴史/起源

全能神教会は一度も全能神の氏名や詳しい経歴を公開しておらず、また、外部の情報源による情報は正確性を欠いている可能性がある」と警告しているが、大半の研究者は、全能神は中国人女性、楊向彬（ヤン・シャンビン）氏（中国北西部、1973年生まれ）に受肉したと考えている。1989年、中国の独立系教会（政府の管理下にある三自教会に属さないプロテスタント系教会であり、家庭教会や地下教会と呼ばれることもある）が復活の狼煙をあげた。同じ年、全能神教会が全能神と特定した女性が正式に家庭教会運動に参加した。1991年、この女性はウィットネス・リー氏（1905–1997）が設立した、欧米諸国では地方教会、中国では呼喊派と呼ばれる団体の集会で、後に信者たちがイエス・

キリストが発した言葉の威光と力に匹敵すると指摘することになる言葉が発するようになった。中国の家庭教会運動に参加した大勢のキリスト教徒たちは、この女性の言葉を聖霊からの言葉だと考え、全能神教会が台頭した 1991 年から集会でこの言葉を口ずさむようになった。その後、この一連の言葉を発した女性はキリスト、神の受肉した存在、そして、唯一の真の神と認識されるようになった。

一連の言葉、そして、全能神に改宗した人々のなかに趙維山（ジャオ・ウェイシャン）氏がいた。黒竜江省出身の趙維山氏は当時呼喊派運動の独立系の団体において信者を指導する立場にあった。その後、趙維山氏は聖霊に使われる者、そして、全能神教会の祭司として認識されるようになる。全能神教会は全能神と考えられている人物が自ら指揮し、信者を導く一方で、趙維山氏は全能神の取り組みに協力し、団体の運営を担当している。数少ない楊氏と趙氏の写真は何年も前に撮られたものであり、写真の真偽も証明できない。

1990 年代半ば、呼喊派と全能神教会の双方は厳しい弾圧の対象となった。中国の当局は両団体の神学理論の違いを必ずしも理解していたわけではなかったが、どちらの団体も 1995 年に初めて公表された邪教リストに掲載された。中国語の邪教という表現は中国の英語の公式文書では「邪悪なカルト（evil cult）または「破壊的なカルト（destructive cult）と翻訳されている。この翻訳は誤りであるが、「破壊的なカルト集団」の問題は中国だけでなく、国際的な問題だと主張しようとする試みと関係がある。実は、邪教という概念は明の時代に生まれたものであり、より正しい翻訳は「異端の教え（Heterodox Teachings）」である。どの教えが「異端」に当たるのかは皇帝が判断しており、邪教のリストは神学のおよび政治的な基盤をもとに編成されていた。例えば、キリスト教は全て 1725 年に邪教に分類されていたが、中国が西洋の政治的および軍事的な圧力に屈したことから、1842 年にリストから外されていた。共和政府および共産主義政府はこの過去の概念と方針を受け継いできた。

中国刑法第 300 条は、邪教への改宗および邪教での活動を犯罪と規定しており、3 年から 7 年以上の懲役刑の対象に定めている。ただし邪教の定義は曖昧だ。最新の定義の試みは、最高人民法院と最高人民検察院が 2017 年 1 月 25 日に公布した「法執行を破壊する目的での邪悪組織の組織と利用に関連する刑事事件での法律の適用に関する問題点の解釈の規則 1」である。この解釈では、邪教は「宗教、気功などの名称を語ることを通じ、その首謀者を神格化および宣伝すること、または迷信を交えた虚偽を捏造および拡散する、もしくは別の手段を用いて、人々を混乱に陥れたり、欺いたりし、（中略）信者を管理し、社会に害を及ぼす違法組織を指す」と定義されていた。

実際には邪教と見なされる団体は、中国の当局が定期的に更新するリストに掲載される団体を指す。1995年、呼喊派と全能神教会の名前がリストに載った。この年以降、全能神教会は毎回邪教リストに登場している。邪教リストへの追加は、国の管理下にある三自教会と家庭教会の一部の指導者たちに支持されていた。全能神教会は存命の人物をキリストの再臨と考えているため、異端と見なしているためだ。

1996年以降、全能神教会は中国で厳しく弾圧されてきた。2000年9月6日、楊氏と趙氏は米国に入国し、翌年、政治亡命者に認定された。それ以来、2人はニューヨークに住み、団体を指揮している。2009年のはじめ、中国本土の活動の責任者であった何哲迅（ヘ・チェシュン）氏という男性が中国の当局により逮捕された。同年7月17日、何哲迅氏の跡を継いだ指導者の馬鎖萍（マ・スオピン）氏（1969–2009）という女性も警察に逮捕され、拘束中に死亡した。全能神教会は定期的に統計データを公開しており、2011年から2013年にかけて30万人以上の信者が逮捕されたと主張している。このデータを立証することは不可能だが、中国政府による反邪教のプロパガンダやその他の公式のデータにおいて、全能神教会に対する運動の「功績」が頻繁に取り上げられていることを考慮すると、その信憑性は決して低くはないと思われる。また、全能神教会は中国で大勢の信者が拷問を受け、一部の信者は拘束中に不審な状況下で死亡していると報告している。

政府の迫害を受け、中国の主流派のキリスト教の教会の指導者の一部から敵対視されているものの、全能神教会は中国で信者を増やし続けている。中国の当局筋によると、2014年の段階で信者の人数は400万人に達していたという。このデータに異論を唱える研究者もいるが、中国では統計データの取得が困難な状況にある。2014年に起きた招遠のマクドナルドでの殺人事件以来（「問題」のセクションで詳しく紹介）、中国での全能神教会に対する弾圧は激化の一途をたどっている。その結果、数千人もの信者が国外に逃亡し、香港と台湾に加え、韓国、米国、イタリア、カナダ等の国々で教会を設立した。

チベット仏教と同じように、中国での迫害と全能神教会の海外への移転は意図しない結果を2つもたらした。まず、大半の国々では今でも中国人が大多数を占めているものの、韓国や米国をはじめとする諸外国で中国人以外の人々が改宗したため、団体の国際化が進行している。また、中国の国外の団体において芸術的な活動が思いがけず活性化している（Introvigne 2017b 参照）。中国では弾圧が原因で芸術的な活動の推進と計画には限りがあったが、教義には美しさの教えも含まれている。2014年以降、全能神教会の信者たちは中国以外で自由に、そして、堂々と宗教活動を行うことができるようになり、多数の重要な芸術制作を実施した。2014年から2017年にかけて全能神教会の信者た

ちは約 2,000 点の絵画と 50 本の映画を制作した（さらに 600 本以上の宗教に関する動画も制作した）。絵画は基本的に映画と動画で使うため、または礼拝の場を美しくするために作られた一方で、映画は多くの観客を獲得した。一部の作品はキリスト教の映画祭に出品された。確実に教義の違いはあるものの、『小真の物語（Xiaozhen's Story）』とドキュメンタリー作品の『（Chronicles of Religious Persecution in China）中国における宗教迫害の実録』を含む一部の作品は荣誉ある賞を獲得していた。

## 信仰

全能神教会の教えは『言葉は肉において現れる』に基づいている。1997 年に初めて出版されたこの書籍は、全能神の言葉集であり、合計 100 万語以上に達する。同団体は『言葉は肉において現れる』を規範とみており、この言葉集のなかには「耳のある者は、御霊が諸教会に言うことを聞くがよい」（ヨハネの黙示録 2:7、11、17、3:12）、そして、聖書の預言である「真理の御霊が来る時には、あなたがたをあらゆる真理に導いてくれるであろう」（ヨハネの福音書 16:13）が含まれる。

全能神教会は神を心から信じ、「優れた人間性」を持ち、全能神こそが現代の中国に再臨したイエスであると確信している者と定義している。一方で中国は、同団体によると、黙示録にある赤い大きな竜が中国共産党を装って姿を現した場所であり、また、キリストの再来、つまり「東方閃電」が姿を現した場所でもあるという。

全能神は人類の第三時代である「神の国の時代」を開始するために現れた。この時代は旧約聖書の時代である「律法の時代」、イエス・キリストの誕生から 20 世紀の全能神の降臨に至る「恵みの時代」に次ぐものである。

律法の時代は人類の墮落（聖書の従来直解主義の解釈によると 6,000 年前に発生）からナザレのイエスの誕生までの 4,000 年間続いた。この時代、神はヤーウェとして現れ、イスラエル人に十戒を与えた。人間の罪深い本性は、アダムとイブの追放からノアの洪水等、神の怒りを買ったが、神は愛情も示している。この点に関して、全能神教会は聖書の物語の細部を重視している。例えば、アダムとイブの物語においては、全能神教会は、裸になるという新たに発見した恥を克服することができる衣服の重要性を指摘している。創世記（3:21）によると、神は自らの手で衣服を作った。人間が罪を犯すものの、神は衣服を自ら用意するほど人間を愛している。ノアの洪水が起きた後、ノアの家族の前に現れた虹は、洪水によって二度と人類を滅ぼさないことを誓う神

の約束を象徴していた。全能神教会は現代の世界においても虹は神の愛を私たちに思い出させるために現れると説いている。

恵みの時代はイエスの誕生とともに始まった。神の職分を実行する前、イエスは「普通の人間」として顕現化した神であった。イエスの神性は正式に職分を開始してから明らかになった。イエス・キリストが十字架に張り付けにされ、犠牲になったことで人間の罪は許されたものの、その罪深い性質は消えてはいなかった。そのため、「人々は神が大いなる栄光を受けたのを見たが、それは神の栄光のすべてではなかった。それは神の栄光のほんの一部であり、神はそれをイエスから得たのである。」（The Church of Almighty God 2015）。「イエスは、あらゆる困難に耐え、へりくだり、目立たず、神のために磔刑につくことを成し遂げたが、神は栄光の一部を得ただけで、その栄光はイスラエルで得た。神にはさらに別の栄光がある。それは、地上に来て実際に働き、人々の一集団を完全にすることである。」（The Church of Almighty God 2015）。

神の国の時代において、神は中国で肉体となって、栄光の別の一部を手に入れる。これは最後の仕事であり、現在の全能神の後に別の顕現が起きることはない。終わりの日における全能神の仕事の主な目的は、人間の罪深い本性を断つことだ。信者の一群が完全とされ、義人が認められ、悪人が暴かれるとき、全能神の仕事は終わり、神と人間は永遠の安らぎを得る（詳細は「千年神の国信仰」参照）。

全能神教会の教えにおいて、見過ごされやすいのが「美」の教えだ。美しさは、第一に全能神の言葉に内在する特徴であり、「美しく、そして、心を打つ」と一様に描写されている（The Church of Almighty God 2017a: 3）。全能神の地球での存在は重要で、疑いの余地がないだけでなく、無類の美しさを作り出す。神の新しい神の国の代表的な特徴の一つが「美しさ」だ（The Church of Almighty God 2017a: 46, 88）。『言葉は肉において現れる』も新しい神の国の外に残り、この美しさを奪われた者の「哀れな状態」を「神の国の美しい景色を見ても、中に入れぬ」と表現している（The Church of Almighty God 2017a: 166）。

信者は地球上で美を作り出すことで、この神的な美しさに向き合う。この美しさはまず信者の生活自体に現れる。全能神教会の信者の証、そして、力強い活動はそれ自体が「美しい」ものである（The Church of Almighty God 2017a: 9）。続いて奇跡が起こる。自然そのものが信者の努力と祈りに反応し、美しさに磨きがかかる。全能神は次のように明かしている。「人々がわたしを大いに褒め称える時、わたしはすべてのものの中で賛美される。こうして、地上の

花は熱い太陽の下で一層美しく成長し、牧草はさらに青々と茂り、雲間の空は青々と晴れる。」（The Church of Almighty God 2017a: 121）。

しかし、美しさは芸術的な形式で全能神を「大いに褒め称える」者によっても創り出される。神の言葉は「最も美しい歌」とされ（The Church of Almighty God 2017: 34）、信者の団体は神の言葉を経験し、視覚芸術の優れた作品を制作するようになる。

全能神教会は千年神の国信仰に基づく団体である。しかし、同団体の千年神の国の区分は専門家から誤解されることが多い。2015年に全能神教会のウェブサイトに掲載された動画は、私たちが現在生活を営んでいる神の国時代と千年神の国時代の違いを次のように説明している。

「あなたがたは千年神の国のビジョンをどのように捉えているのだろうか。ある人たちは、そのことについて大いに考え、千年神の国は地上で千年続くだろうと言う。それなら、教会の年長の信者で未婚の者は、結婚しなければならないのだろうか。私の家族にはお金がないから私はお金を稼ぎ始めるべきだろうか。…千年神の国とは何か。あなたがたは知っているだろうか。人々の目はかすんでおり、きびしい難儀に苦しんでいる。実のところ、千年神の国はまだ公けには到来していない。人々を完全に作る過程においては、千年神の国はまだその序奏縮図に過ぎない。神の語る千年神の国の時には、人は完全にされているのである。」（The Church of Almighty God 2015、次の引用も含む）。

全能神教会はスローガン「千年神の国は訪れた」を使用しているが、このスローガンは「預言」と描写されている。これは「預言者の預言に類似しており、その中で神は将来起こることを預言する。」。

全能神教会によると、現在は神の国時代ではあるものの、千年神の国の時代と混合すべきではないようだ。神の国時代では全能神は「人々を完全にし、人々の中にある汚れを清め、彼らを神の前に聖なる、義なるものとするため」言葉を発する。この欠かせない清めの期間において、千年神の国は「その序奏に過ぎず」、神の言葉により完全されることを経験している信者の中で預言として生きている。実際に、神の地球上の栄光は完了していない。「人々が神によって完全にされ、神の前に身を委ねることができ、完全に神に従うことができ、自分たちの将来性や運命を神の手に委ねることができる日が来る時、神の栄光の第二部が完全に獲得されたことになる。

この段階で神の「中国本土における神の働きは終了する。言い換えれば、神によって予め定められ選ばれた人々が完全にされた時、神は栄光を受ける」。全能神教会は同教会が全能神として崇拝する人物が地球上で永遠に生きるとは考えていない。全能神の天国への帰還は、清めの仕事が終わったことを意味する。ヨハネの黙示録で預言されていた災害は地震や戦争、飢饉として発生する。

しかし、地球が破壊されることはない。神が清めた信者たちの永遠の家となる。全ての全能神教会の信者が災害を生き抜き、永遠に生きるのではなく、あくまでも神の仕事により清めを受けた者だけである。

災害は聖書のなかで預言されているが、詳細は不明だ。正確な日時も分かっていない。しかし、全能神教会の一部の信者は 2012 年に世界の終わりを予言した、いわゆるマヤ予言に関心を寄せたが（後述の「問題」の項目を参照）、その見解は全能神教会の教義とは一致しないため、同団体の指導者から叱責を受けた。全能神が告げているのは世界の終わりではなく、世界の変容である。そして、この変化は全能神の地上での仕事が完了する前に起きることではない。

千年神の国の時代では、「人々はすでに完全にされており、彼らの中の墮落した性質は清められている。その時、神が語る言葉は人々を一步一步導き、天地創造の時から今日に至るまでの神の働きの奥義をすべて明らかにする。神の言葉は、人々にそれぞれの時代と日々の神の業について語り、神がどのように人々を内面から導くか、神が霊界で為す働きについて、また霊界の動的状態について語る。」。千年神の国の時代が到来したことを明確に示す兆候は「あらゆる国の民たちが神の名のもとに集い、神の言葉を読むようになる」であり、現在の神の国の時代では明らかに実現されていない。人間の罪深い本性が完全に根絶されることで、神により完全な存在となった「聖人」は平和と美に囲まれ神の国で永遠に生きる。全能神が明かしたとおり、この世界に存在する美しいもの、穢れなきものは生き残る。「この生活、この美しさは、はるか昔から、そして永遠に、変わらないであろう。これが神の国の生活である。」（The Church of Almighty God 2017a: 92）。全能神教会はこの千年神の国のシナリオがヨハネの黙示録の預言を実現すると考えている。「のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらぬ。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する」（ヨハネの黙示録 22:3-5）。

全能神教会の千年神の国信仰の一部は 2016 年に完成および公開されたミュージカル映画『人は皆もとの聖さに回復した』のなかで提示されている。この映画も同団体の視聴覚部門が制作し、賞を受賞している。

## 流儀

全能神教会には正式な礼拝方法もなければ、洗礼や聖餐等の礼典も存在しない。全能神教会は、信者が集会において「神は霊であるから、礼拝をする者も、霊とまこととをもって礼拝すべきであり」（ヨハネによる福音書 4:24）、そ

して、従来のキリスト教の聖餐は恵みの時代の実践であり、神の国の時代には存在しないと考えている。

しかし、全能神教会が集会を軽視しているという意味ではない。全能神教会は集会を行い、全能神の言葉について議論することで、説教に耳を傾けることで、そして、讃美歌を歌い、体験を共有することで「交流」する。信者は最低限の礼拝とは裏腹に、豊かな信仰生活を送っている。信仰生活の頻度や期間に決まりはなく、各地域の団体の必要性和状況に左右される。

時折、家族や敵対者は「交流」に過剰に多くの時間が取られ、宗教以外の仕事や趣味に集中することができないと不満を漏らすことがある。一部の信者は常勤の伝道師として働くことを決断する（同じ事象が多くの宗教の団体で起きていることは明らかである）。全能神教会は、教えが信者をより優れたキリスト教徒、より優れた家庭的な人物に成長させ、より適切に家族および親族に接する方法を学ぶ上で貢献すると主張し、この批判に答えている。

現在の交流はインターネットを用いて行われることが多く、別の国々、または別の大陸の信者でさえも共に交流を行うことができる。信者たちはインターネットによる交流を刺激的な経験だと表現している。また、信者は主流派の教会で牧師や神父の説教を「受動的」に聞く行為と比較し、発言し、自分たちの意見を表現する機会が多いと指摘している。

## 問題

重大な犯罪を行ったとして全能神教会を非難するのは中国共産党とその他のキリスト教団体である。中国政府およびメディアは定期的に全能神教会の犯罪を非難している。そのなかでも特に頻繁に非難しているのは 2014 年に招遠市のマクドナルドで起きた殺人事件である。この事件は BBC ワールドサービス (BBC World Service 2014) で大々的に報じられていた。専門家によると、その他の非難を受けた事件は 2012 年に世界が終わるとする予告に関連するものだという。一部の研究者は、非難が大きく誇張され、中国政府により虚偽報道が捏造されていると考えている (Introvigne 2017a; Introvigne and Bromley 2017; Folk 2017b)。

招遠市のマクドナルド起きた事件とは、2014 年 5 月 28 日、37 歳のある店の販売員の呉碩艶 (ウー・シュオヤン) さん (1977~2014) が残虐に殺害された事件である。6 人の「伝道師」がマクドナルドに入店し、客の携帯電話の番号を尋ねていた。呉さんが電話番号を教えることを拒否すると、「悪霊」と見なされ、殺されたのであった。



中国の当局は、加害者が全能神教会の信者であると主張し、この主張を用いて同団体への増え続ける露骨な弾圧を正当化した。この主張は欧米諸国の大手メディアも繰り返し報じていた。しかし、2人の加害者が死刑を宣告されたその後の裁判の書類を調査した研究者たちは、加害者のグループは「全能神」という名称を使っていたものの、全能神教会とは無関係であり、別の宗教団体の2人の女性指導者（処刑された張帆（チャン・ファン、1984～2015）と呂迎春（ルー・インチュン、1975～））に受肉した双神である別の全能神を信仰していたことを突き止めた。

「国は趙維山の偽の「全能神教会」を邪教と見なし、我々は「悪霊」と見なした。「長子である」張帆と私のみが真の「全能神」の唯一の代弁者である。政府は我々が言及した全能神ではなく、趙維山が信じる全能神を弾圧している。我々は真の「全能神」であり、彼らの「全能神」は偽物だ」（The Beijing News 2014）。

続いて張帆が次のように宣言した。

「現在まで父、弟、妹、呂迎春、張巧聯（チャン・チャオリアン）のみが本物の「全能神」を信奉している。2010年、私は「全能神」から「長子」となった。[2014年]5月に悪霊を退治する権限を天から授かり、私は「神自身」になった。「神自身」とは、言わば私は実体において神であるという意味だ。呂迎春も実体における神である」（The Beijing News 2014）。

2013年8月24日、山西省で一人の女性が郭斌（グオ・ビン）君という名の男児の眼球をくり抜いた。その後、この少年は深圳市で義眼手術を受け、一躍世界的に有名になった。一部の中国のメディアは眼球を取り出した犯行が全能神教会の信者によるものだと指摘した。しかし、参照可能な情報を精査したところ、この犯行は郭斌君の伯母に当たる人物の犯行であるとわかり、この人物は精神障害を抱えており、後に自殺を図った。全能神教会とは何の関係もなかった。事実、中国の反カルト団体はマクドナルドでの殺人事件が発生した後、2014年6月になってからこの犯罪を全能神教会と関連づけ始めていた。なお、10ヶ月後に地元の警察は伯母の単独の犯行であると結論を出し、事件を処理した（Folk 2017b）。

また、全能神教会は、マヤ文明の予言に基づく2012年現象の世界的な枠組みの中で、2012年に世界が終わると予告し、中国全土で騒動やさらには犯罪を発生させた罪を問われている。この件も中国の当局が大勢の全能神教会の信者を逮捕する行為を正当化するために使われていた。オーストラリア人研究者のエミリー・ダン(Emily Dunn)氏は、2015年に発表した全能神教会のみを取り上げた世界初の学術書のなかで、多くの中国人と同じように、「一部の全能

神教会の信者もマヤの予言を受け入れていた」が、「団体の自称指導者から承認を受けていなかった」と指摘した。全能神教会の指導者は「マヤ」や世界の終わりに関するその他の理論を神学のおよび事実上「誤り」だと宣言していた (Dunn 2015b: 95)。上述のとおり、世界が 2012 年に終わるという考えは全能神教会の教義とは一致しなかった。また、同団体は中国の反邪教のウェブサイトで描かれている一部のチラシや冊子は、捏造された、もしくは、全能神教会の既存の資料を Photoshop 等の技術を用いて修正したものから引用されたと主張している。時折、全能神教会の敵対者は不当な方策に訴えている。例えば、英国では偽のウェブサイト「Church of Almighty God UK」が「www.chinesetouk.co.uk」の URL で作成されている。全能神教会はこのウェブサイト削除しようとして試みているものの、今のところ功を奏していない。全能神教会はこのウェブサイトを非難する文書「全能神教会を模倣するウェブサイトに関する宣言」を公表した (The Church of Almighty God 2017c)。

その他のキリスト教団体は、不正な戦略を用いて全能神教会を「異端」および「信者泥棒」として非難した。例えば、2002 年、全能神教会が中国有数の規模を誇る家庭教会の中華福音団契の 34 名の指導者を誘拐し、全能神教会に改宗させたという主張もその一つだ (Shen and Bach 2017)。欧米の大勢のキリスト教徒は、この言い分を信じるに値すると考えたものの、全能神教会は、有罪だとして逮捕されたり、裁判にかけられたりした者がおらず、話に矛盾があると反論している。中国福音団契は、誘拐をでっち上げ、国内の指導者を含む信者の多くが全能神教会に改宗した事実への言い訳にしたに過ぎないと指摘している (The Church of Almighty God 2017b, Introvigne 2018 も参照)。

また、韓国をはじめとする諸外国に逃亡した信者の難民認定が拒否され、問題になっている。これらの国々の当局は、難民の申請者が直接迫害を受けたという証拠が不十分だとしている。しかし、一部の国際的な専門家たちは、同団体が運動として迫害を受けている事実こそが、信者を真の難民申請者だとみなす何よりの証拠であり、申請者に不利な決定を下す理由として不当だと応じている (Šorytė 2018)。

## 個人の見解

中国で弾圧を受けてきた全能神教会の一部の信者は、国際会議、記者会見およびインターネット上で証言を行っている。一部の証言は独立の人権団体が信じるに値すると見なし、ウェブ上に投稿されている。このセクションでは、そのうちの一つを動画で提供し、改宗に関する 4 人の個人的なストーリーを取り上げていく。

アメリカ人の改宗者であるアンさんは、エホバの証人の信者として育てられた。アンさんは「私は成長するなかで、長年に渡り、世界で災害が起きる頻度が高くなり、人々が徐々にパニックに陥り、墮落している現実を目の当たりにしてきました。ヨハネの黙示録で言及されていた大災害や終わりの日の様々な兆候を考慮し、心のなかで終わりの日が既に到来し、[ヨハネの黙示録 10:10の]小さな巻物が開かれたと確信しました。でも、どのように開くのだろうと疑問に思いました」。アンさんはエホバの証人から説得力のある答えを見出すことができず、ペンテコステ派の教会に加わった。この教会で、終わりの日に関する詳細をアンさんは尋ねた。すると牧師は「それは全て謎であり、知る必要はありません」と答えた。落胆したアンさんはエホバの証人に戻った。しかし、この疑問を Facebook で打ち明けることにした。

すると全能神教会の信者であるダニーさんが反応し、「神は仕事をするために地上に来て、終わりの日において人類を裁き、清めるために言葉を発しました。終わりの日の神の仕事を詳しく理解している姉妹を私は知っています。もしよかったら、この姉妹を招いて、この件と黙示録に登場する小さな巻物が開く経緯を話し合いませんか」と答えた。興味深いことに、経験豊かな信者の姉妹であるフローラさんとの交流は Facebook でも行われた。これは欧米人の改宗において繰り返されられるパターンである。フローラさんは「終わりの日において全能神が伝えた『言葉は肉において現れる』は、聖書で記されている子羊が開く小さな巻物そのものです。そして、終わりの日について知るべきことの全ての真理が含まれています」とアンさんを説得した。

全能神の言葉を読み、「慎重に調査」した後、アンさんは改宗し、次のように結んだ。「私は全能神が主イエスの再臨であると確信しました。主イエスは巻物を開き、全ての謎を明らかにしてくれました。その後、私はすぐに家族に福音を伝道しました。母と夫はともに神に忠誠を誓いました。私たちはなんて幸運なのでしょう。これから、私は娘と友人にも教えを説くつもりです。私は神の言葉を称えるのであり、心に触れた言葉を伝えたいと思います。「見よ、巻物は開かれた」と」（「Ann」2017）。

マックスさんは米国で生まれたものの、両親はすぐにマックスさんを連れて、母国である中国に帰国した。14歳のころマックスさんは米国に戻り、高校に通った。マックスさんは、中国にいる母親が全能神教会に改宗したと知り、とても心配した。なぜなら、ウェブで情報を検索したところ、様々なウェブサイトがこの団体を重大な犯罪を行ったカルト団体だと描写していたためだ。マックスさんは母親に会いに行ったが、イエス・キリストが女性に受肉したという母親の主張を受け入れることはできなかった。母親は何度もマックスさんに全能神の言葉を伝えた。「神による各段階の働きには実質的な意義がある。イエスが来た時男性であったが、今回は女性である。このことから、神はその働き

のために男と女の両方を造ったが、神には性の区別がないことがわかる。」。それでもマックスさんは納得しなかった。しかし、全能神教会の信者と交流し、信者が反カルトのウェブサイトで描写されていた暴力的な「カルト信者」ではなく、「普通」で親切な人々であることが分かると、徐々に全能神教会の考えを受け入れるようになった。それでも、全能神教会が犯罪を行ったという主張に困惑していた。

最終的にマックスさんは神学のアプローチを通して疑念を晴らすことができた。マックスは次のように学んだ。「終わりの日に、神の言葉に導かれ、より多くの人々がサタンから生じる邪悪な力を区別することができるようになります。また、彼らは[主流派の]宗教世界の指導者および無神論主義の中国共産党政権の邪悪でサタンの本質を明確に把握することができるようになります。(中略) 人類を救い、サタンの邪悪な影響から人々を抜け出させる仕事を神が行うなか、サタンは何もしないのでしょうか？ サタンは負けることを望まないでしょう。神が選んだ人々を巡って神と戦うため、サタンは最後まで諦めません。宗教の世界とサタンの中国共産党政権は提携し、インターネットとメディアを介して、真理を知らない者や真実を見極めることができない者を欺くため、意のままに全能神教会に関する噂を広め、中傷しています。両者は永遠に人類をコントロールする試みを続けるでしょう。しかし、最終的に敗北を喫するのは彼らの方です」(「Max」2017)。

Facebook を介しての全能神教会を発見、初めはインターネット上のネガティブな情報に困惑する状況は、アメリカ人の夫婦のティナさんとチャーリーさんも経験している。2人はアリゾナで小さな事業を営んでおり、改宗後に私は取材した。ティナさんは宗教の信仰に真剣ではなかったが、人類の未来と現在の問題の原因に関心を抱いていた。ティナさんは Facebook で全能神教会のことを知り、交流を始めた。ティナさんの娘と夫のチャーリーさんは、初めはティナさんが宗教の活動にあまりにも多くの時間を費やすことを心配していた。また、ウェブ上で全能神教会が危険なカルトであるという情報を得ていた。しかし、ティナさんは交流を始めてから、以前よりも良い母、良い妻となったか、あるいはその反対かを家族に尋ねた。娘と夫はティナさんが以前よりも落ち着き、優しく、気遣いにあふれるようになったと思えると認めた。娘は依然として懐疑的であったが、夫は『言葉は肉において現れる』を読むことに同意し、「全能神の言葉を否定することはできない」という結論に至った。熱心なティナさんは事業を辞めてニューヨークに向かい、常時全能神教会の布教者として活動することを考えた。全能神教会に関するイメージとは反対に、ティナさんはこれからも家族と一緒にいることが使命だと伝えられた。今でもティナさんは「カルトに加わった」という疑いを根拠に反対されることはあるものの、ティナさんとチャーリーさんの、娘や近隣の住民との関係は良好で、主張ではな

く、模範、真心および優れた品位を介して、いずれは一部の人々に全能神を信仰してもらうことを諦めてはいない。

「クリストファー」さん（仮名）はフィリピンのインターナショナル・クリスチャン・ライフ・センター（ICLC）で牧師を務めていた。当然ながら、クリストファーさんの証言は神学的な色合いが強いが、個人の経験に基づいている。クリストファーさんはキリスト教の牧師として優秀であり、有能だと信じていたが、教会で数年に渡り奉仕しても、相変わらず罪深く、家族にすぐに腹を立ててしまう完璧とは程遠い人間だと自覚した。クリストファーさんはイエス・キリストに救済されたと固く信じていたため、なぜこのようなことが起こるのか分からなかった。そんなとき、偶然にもウェブで検索を行っている際に全能神教会のウェブサイトを発見した。クリストファーさんは同団体の神学に関心を持ち、連絡先を探した。

その結果、クリストファーさんは2つの段階の救済に関する教えと、「救われる」と「清められる」の概念が異なるという考えを会得した。「私は救われるということは、イエスの救済を受け入れるということ、そして、律法の違反に対して（中略）罪を問われないことを意味することだと理解しました。完全に清められたことを意味するものではありません」。罪深い本性は残る。そして、終わりの日に全能神として、キリストの第二の顕現があった今、根絶されようとしている。

クリストファーさんは次の結論に至った。「私は神を長年にわたり信じてきました。何度も信者に説教をし、肉体を抑制してきました。それでも、主の教えを守ることができなかつたのです。罪深い性質は変わらず、この性質を断つことができなかつた。その結果、日に日に苦しみ、悩むようになりました。終わりの日に神の審判と刑罰を受けなければ、自ら罪の束縛と足かせを解くことができない点をようやく私は理解しました。現在、私には、清めを実現し、真の救済に到達する道が見えています。私はその情けと救済に対して神にとっても感謝しています。（中略）神の仕事は非常に実地的なのです」（「Christopher」2016）。

## 詳しい情報

全能神教会が提供する情報

Official Website: <http://www.holyspiritspeaks.org>.

- The Church of Almighty God. 2015. “A Brief Talk About ‘The Millennial Kingdom Has Arrived.’” <https://www.holyspiritspeaks.org/a-brief-talk-about-the-millennial-kingdom-has-arrived>.
- The Church of Almighty God. 2017a. *The Word Appears in the Flesh*. Seoul: The Church of Almighty God.
- The Church of Almighty God. 2017b. “Statement: The Church of Almighty God Did Not Kidnap 34 Leaders of China Gospel Fellowship in 2002. The Kidnapping Incident Is Simply a Fabrication.” October 18, 2017. <https://www.holyspiritspeaks.org/statement>.
- The Church of Almighty God. 2017c. “Declaration Concerning Websites Imitating The Church of Almighty God.” February 24, 2017. <https://www.holyspiritspeaks.org/solemn-declaration>.

#### 批評的なアプローチ

- (キリスト教の反カルトのアプローチ) Shen, Xiaoming, and Eugene Bach. 2017. *Kidnapped by a Cult: A Pastor’s Stand Against a Murderous Sect*. New Kensington, Pennsylvania: Whitaker House.
- (中国共産党の視点からの世俗的な反カルトのアプローチ) “Inside China’s ‘Eastern Lightning’ Cult.” *China People’s Daily*. June 3, 2014. <http://en.people.cn/n/2014/0603/c90882-8735801.html>.
- (主として反カルトの視点からのジャーナリストの記事) Gracie, Carrie. 2014. “The Chinese Cult That Kills ‘Demons.’” *BBC News*. 2014年8月13日. <http://www.bbc.com/news/world-asia-china-28641008>.
- (マクドナルドの殺人事件の文書 – 中国政府による提供)
- The Beijing News. 2014. “山东招远血案被告自白: 我就是神” (山東省招遠市の殺人事件の被告の告白: 「私は神自身だ」). August 23, 2014. Compiled by Yang Feng. <http://news.sina.com.cn/c/2014-08-22/123730728266.shtml>.

#### 学術的なアプローチ

- Dunn, Emily. 2015a. “Church of Almighty God / Eastern Lightning.” *World Religions and Spirituality Project*. February 19, 2015. <https://wrldrels.org/2016/10/08/church-of-almighty-god>.
- Dunn, Emily. 2015b. *Lightning from the East: Heterodoxy and Christianity in Contemporary China*. Leiden: Brill.
- Folk, Holly. 2017. “‘Cult Crimes’ and Fake News: Eye-Gouging in Shanxi.” *The Journal of CESNUR* 1(2):96-109. DOI: 10.26338/tjoc.2017.1.2.5.

- Folk, Holly. 2018. “Protestant Continuities in The Church of Almighty God.” *The Journal of CESNUR* 2(1):58-77. DOI: 10.26338/tjoc.2018.2.1.4
- Introvigne, Massimo. 2017a. “‘Cruel Killing, Brutal Killing, Kill the Beast’: Investigating the 2014 McDonald’s ‘Cult Murder’” in Zhaoyuan.” *The Journal of CESNUR* 1(1):61-73. DOI: 10.26338/tjoc.2017.1.1.6.
- Introvigne, Massimo. 2017b. “The Church of Almighty God and the Visual Arts.” *World Religions and Spirituality Project*. December 3, 2017. <https://wrldrels.org/2017/12/04/church-of-almighty-god-eastern-lightning-and-the-visual-arts>.
- Introvigne, Massimo. 2018. “Captivity Narratives: Did The Church of Almighty God Kidnap 34 Evangelical Pastors in 2002?” *The Journal of CESNUR* 2(1):100-110. DOI: 10.26338/tjoc.2018.2.1.6.
- Introvigne, Massimo and David Bromley. 2017. “The Lü Yingchun – Zhang Fan Group.” *World Religions and Spirituality Project*. October 16, 2017. <https://wrldrels.org/2017/10/16/lu-yingchun-zhang-fan-group>.
- Šorytè, Rosita. 2018 . “Religious Persecution, Refugees, and Right of Asylum: The Case of The Church of Almighty God.” *The Journal of CESNUR* 2(1):78-99. DOI: 10.26338/tjoc.2018.2.1.5.

#### 個人の証言

- “Ann.” 2017. “Behold! The Scroll Has Been Opened! – Return to God.” <https://bit.ly/2Sm18h6>.
- “Christopher.” 2016. “A Pastor’s Spiritual Confession.” <https://bit.ly/2TXN1QI>.
- “Max.” 2017. “I Will No Longer Define the Gender of the Returned Lord by My Imagination.” <https://bit.ly/2AA8OVF>.